

事故報告書 記入例

◎添付資料 **あり**・なし

事故情報 (選択・一部記述)	日時・天候	場所	事故発生状況	事故分類	きっかけ	原因物件	事故の具体的内容		
	12月25日 10時ごろ 晴れ	・屋外 ・屋内 生物系実習室 ・学外	・授業・ 実験実習 /スポーツ/業務 中 ・課外活動中 ・休憩中 ・片付けや点検 中 ・その他	・傷病 ・物損 ・火災 ・ヒヤリハット ・その他	・人の動き ・物の動き ・接触 ・吸収 ・その他	・建造物・機械・ 重量物・ 工具・器 具 ・ 危険物 ・ 化学 物質 ・動物・熱・ 光・電気・寒材・ 酸欠・紫外線・放 射線・その他	事故に至った状況、被害内容等を簡潔に記述 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">実験後の酸性廃液をアルカリ性剤で中和作業中、ふらふらとしてしまい、隣の作業者と接触しそうになってバランスを崩し、近くのガラス器具を落とした。割れた器具で手が切れてあわててしまい、左手に持っていた苛性ソーダ溶液をこぼして、右足(脛)に浴びた。実験室の中では、クロロホルムなどの有機溶剤が複数使われており、有機溶剤臭が気になっていた。</div>		
	障害の種類	障害の身体部位	障害の程度	応急処置・病院搬送	通報	業務正常化までの推定時間			
	・切り ・刺し・擦り・ やけど・ 薬傷 ・ねんざ・骨折 ・皮膚炎・熱中症 ・中毒 その他 ・物損	頭・顔・上肢(右・ 左)・手(右・左)・ 胸・腹・ 尻 ・ 下肢 (右・左)・足(右・ 左)・その他	・入院 ・通院 1日 ・安静 ・休養 ・その他	切り傷は止血、 水道水で洗浄 病院名 ()	・警察へ ・消防へ ・保健所へ ・労基署へ ・その他(保健セ ンター)	1 日程度 時間程度 その他			
被災者情報 (選択・一部記述)	身分/所属	氏 名		性別・年齢	連絡先		過去の類似体験		
	学生・ 教員 ・ 職員	大環 協子		男・ 女	学内: 内1234 携帯: 090-〇〇〇〇-××××		ある ・なし		
	所属	(担当教員名:)		23 才	e-mail:		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">・トルエンを嗅いで、軽いめまい ・隣の実験者と接触</div>		
事故発生に寄与した因子として考えられること (チェック者:被災者/ 安全衛生スタッフ)	直接的要因				間接的要因				
	物的要因 <input checked="" type="checkbox"/> 作業環境(暑熱・寒冷・照度・光・騒音・換気) <input type="checkbox"/> 建物・通路 <input type="checkbox"/> 設備・機械・工具の故障 <input checked="" type="checkbox"/> 危険物・有害物 <input type="checkbox"/> 安全・防護対策 <input type="checkbox"/> 警戒設備 <input type="checkbox"/> 作業工程の無理 <input checked="" type="checkbox"/> 他者作業の影響 <input checked="" type="checkbox"/> その他				人的要因 <input type="checkbox"/> 習熟度・経験の不足 <input type="checkbox"/> 作業手順の無視・変更 <input type="checkbox"/> 運転中の機械の停止・誤作動 <input type="checkbox"/> 機械・器具の誤選択・誤使用 <input checked="" type="checkbox"/> 安全対策の誤選択・未使用 <input checked="" type="checkbox"/> 保護具の誤選択・未使用 <input checked="" type="checkbox"/> 無理な姿勢・速度 <input type="checkbox"/> 走る、跳ぶ、高所からの降り <input checked="" type="checkbox"/> 焦り、ぼんやり、うっかり <input checked="" type="checkbox"/> その他			<input checked="" type="checkbox"/> 管理的因子:組織体制、責任者、ルール、手順書、点検、放置、管理者の不在 <input type="checkbox"/> 技術的因子:設備・工具の設計不良、材料構造の不適當、安全対策の欠陥、無理な手順 <input checked="" type="checkbox"/> 教育的因子:安全知識欠如、安全衛生教育の不足、経験不足、技能未熟、安全の軽視 <input type="checkbox"/> 身体的因子:体調不良、過労、ストレス、睡眠不足、近視、難聴、体力不足 <input type="checkbox"/> 精神的因子:ストレスによる意欲低下、集中力低下 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
再発防止のために必要なこと (チェック者:被災者/ 安全衛生スタッフ)	技術的対策		教育的対策		身体的対策		管理的対策	その他	
	<input type="checkbox"/> 設備・機械の設置、改善 <input type="checkbox"/> 工程・手順の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 器具・材料の変更 <input type="checkbox"/> 検査・点検の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 保護具 <input checked="" type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 安全衛生教育 <input type="checkbox"/> 訓練 <input type="checkbox"/> 外部研修の受講 <input checked="" type="checkbox"/> ゼミ内勉強会 <input checked="" type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 保健 <input type="checkbox"/> 休養 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> 治療 <input checked="" type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制 <input type="checkbox"/> 産業医・コンサルタント <input checked="" type="checkbox"/> 衛生管理者 <input type="checkbox"/> 責任者 <input checked="" type="checkbox"/> ルールの策定 <input checked="" type="checkbox"/> その他		具体的に
事故の後、実際に講じた措置	研究室内ルールの改善 ①研究室内で情報共有のための時間を増やす。②毎週1回のゼミごとに互いに実験予定を知らせ合う。③有機溶剤を使うエリア、局排使用のルールを明確にする。④中和剤の濃度を希釈し、手順書も訂正する。④白衣、保護具の着用の徹底。⑤1月後、作業主任者、衛生管理者による巡視確認。								